

臨床検査科支部会報

ピペッツVol. 19

2000年3月27日発行

編集委員 清水のぞみ 宮地なぎさ

網島 充英 山上 宣克

編集発行 川崎医療短期大学同窓会(松丘会)

臨床検査科支部

〒701-0194 倉敷市松島316番地

TEL 086-462-1111 (内3025)

印刷 西日本法規出版(株)

広島全国学会で合同同窓会開催

5月12日～14日にかけて第48回日本臨床衛生検査学会が広島市で開催されました。中国地方での開催であり、卒業生も多く参加することが予想され、13日に懇親会終了後全国学会では初めて、川崎医療短期大学臨床検査科卒業生合同同窓会を行いました。場所が居酒屋ということで17時ごろから飲み始めた人もいて、同窓会開始前より盛り上がりました。同窓生20数名が参加し、特に日本酒の銘柄当て利き酒ゲームではその日の会費免除をかけて真剣勝負が繰り広げられおおいに盛り上がりました。中四国での全国学会は当分無いと思いますが、またこの様な機会がありましたら同窓会を行いますので、ぜひご参加ください。みんなでおおいに盛り上がりましょう。

1～8期合同同窓会開催

5月29日(土)に1～8期合同の講演会及び同窓会をアークホテル岡山で開催した。佐々木先生夫妻をはじめ、中田先生夫妻、松田先生、佐藤先生、三戸先生、土井先生の御出席をいただいて65名の同窓生が集まりました。17時から始まった講演会では、まず1期生の小郷先生より「短大の紹介」と題し、昔から現在までの川崎学園周辺及び短大の写真が紹介され、なつかしい写真にみんな学生時代の思い出に酔いしれた。続いて、6期生の河口君より現在の中検内部の様子が紹介され、次に7期生の小林君より病院病理部内部が紹介された。学生時代とのあまりの違いに、みな驚かされた様子だった。最後に佐々木先生より「よもやま話」と題し、今回は得意の8ミリではなく、話だけで人を引きつけたいとお考えからスライドも無く昔から現在までの話をされ、人間はアイデアと努力そして人と人のつながりによって成り立っていることなどについて話された。昔と変わらず人を引き付ける話し方、内容に感心させられた。講演会終了後集合写真をみんなで撮り、その後懇親会へと進んでいった。懇親会でも学生時代の各期の写真が会場に写され昔話におおいに盛り上がった。最後に佐々木先生から参加者全員に先生の書かれた本と肉声入りのCDの贈り物があり、佐々木先生のサイン会で閉めとなった。また、二次会も佐々木先生夫妻をお招きし約30人が参加し盛大に行った。



川崎医療短期大学臨床検査科1～8期合同同窓会
平成11年5月29日 於 アークホテル岡山

川崎医療短期大学の最近の動向

川崎医療短期大学（以下、短大）は2000年までに大きく変わりました。現在、まだまだ大きく変わろうとしています。

1. 短大体育館が建て替えられました。

旧体育館を取り壊し、新しい体育館が出来上がりました。2Fが体育館で、バレーボール・バスケットボールが2面とれます。1Fは300名収容の多目的ホールがふたつあり、とても広くて快適な空間が出来上がりました。

2. テニスコート、駐車場が新しくなりました。

短大体育館の新築にともない、従来の短大下のグラウンドがテニスコート（5面）と駐車場に変わりました。

3. 短大校舎が改修されました。

短大玄関、事務室、各エレベータフロアー、学生ホールをはじめ短大内の様々な施設が改修されました。

4. 学生寮が改修されました。

学生寮も短大校舎とともに改修されました。内装だけでなく、冷暖房が完備され、以前よりも快適に過ごせるようになりました。

5. 2000年度から短大の医療秘書科と医用デザイン科、通信教育部医療秘書科の募集が停止されます。

2000年4月1日より、短大の医療秘書科と医用デザイン科が、それぞれ川崎医療福祉大学医療福祉学部医療マネジメント学科、同学同部医療福祉環境デザイン学科として改組移行されることになりました。また、通信教育部医療秘書科は、母体となる医療秘書科が改組移行されるために募集停止になりました。なお、医療秘書科、医用デザイン科、通信教育部医療秘書科とも在学生の卒業を待って廃止されることとなります。

6. 2000年度から第一看護科の定員が80名になります。

2000年4月1日より、短大の第一看護科の募集定員が50名から80名になります。

などなど、様々です。

臨床検査科も2000年4月からカリキュラムを全面的に見直し、前期後期制の導入などを含めて学習内容が大きく変わることがほぼ決まりました。短大での講義は1年生前期～2年生前期、附属病院での実習は2年後期～3年前期となり、課題研究実習はなくなります。

最後に今後の動向ですが、短大に介護福祉学科（名称は変わる可能性があります）を定員100名で新設する方向で準備が進められています。もちろんですが、これからも改組転換が行われていくことが見込まれます。

21世紀に向けて、短大は大きく変わろうとしています。その中で、臨床検査科はどう生き残っていくべきなのか、どう生き残れるのかなどを考えさせる今日この頃です。

第9期生 所 司 睦 文

川崎医療短期大学（松丘会）臨床検査科支部 会計報告

自 平成10年4月1日

至 平成11年3月31日

平成10年度収支決算書

収入の部	決算額	支出の部	決算額
入会金	225,000	会議運営費	84,035
同窓会費	225,000	事務費	65,316
助成金（本部より）	170,000	会誌発行費	228,165
寄付金	0	慶弔費	15,750
預金利子	785	援助金	224,888
雑収入	0	旅費交通費	0
		雑費	0
		予備費	0
前期繰越金	1,198,888	次期繰越金	1,201,519
	1,819,673		1,819,673

(収入の部)

項目	予算額	決算額	差異	摘要
入会金	245,000	225,000	△20,000	5,000×45名（24期）
同窓会費	483,000	225,000	△258,000	
新入会費	245,000	225,000	△20,000	5,000×45名（24期）
10年会費	238,000	0	△238,000	
助成金（本部より）	170,000	170,000	0	
寄付金	0	0	0	
預金利子	1,500	785	△715	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	1,198,888	1,198,888	0	
収入合計	2,098,388	1,819,673	△278,715	

(支出の部)

項目	予算額	決算額	差異	摘要
会議運営費	250,000	84,035	165,965	
代表者会運営費	100,000	15,910	84,090	5/16開催
理事会運営費	75,000	28,960	46,040	4/28開催
部局会運営費	75,000	39,165	35,835	事務2回、学術企画4回、他1回
事務費	310,000	65,316	244,684	
通信費	200,000	39,980	160,020	テレカ代
消耗品費	100,000	25,336	74,664	振込用紙印刷
振込手数料	10,000	0	10,000	
会誌発行費	620,000	228,165	391,835	ピペッツ17号
印刷費	350,000	139,125	210,875	
発送費	270,000	89,040	180,960	
慶弔費	70,000	15,750	54,250	川上元学長へ生花
援助金	430,000	224,888	205,112	
卒業時援助金	30,000	30,000	0	24期
各期援助金	150,000	45,000	105,000	6期、10期、21期
地域支部援助金	50,000	30,000	20,000	広島東部支部、中四学会時同窓会
在校生援助金	200,000	119,888	80,112	ボーリング大会、国家試験対策
旅費交通費	100,000	0	100,000	
雑費	50,000	0	50,000	
予備費	268,388	0	268,388	
支出合計	2,098,388	618,154	1,480,234	
次期繰越金	0	1,201,519		

2 期生三宅康之氏日本臨床細胞学会学会技師賞受賞

2 期生三宅康之氏（川崎医科大学附属病院病院病理部）は平成11年6月26日、第40回日本臨床細胞学会において今日まで多くの論文を発表し、臨床細胞学会における技術の進歩ならびに日本臨床細胞学会の発展に寄与したとし、学会技師賞を受賞されました。

学術・企画部より

平成12年7月22日午後4時より、短大体育館において、総会および25周年合同同窓会を開催致します。詳細については、後日あらためてお知らせ致します。ご多忙中とは存じますが、多数ご出席いただきますようご案内申し上げます。なお、同窓会においての一般演題を会員の皆さまに広く募集いたします。

ご希望の方は、下記にご連絡ください。

連絡先：〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

川崎医科大学附属病院 中央検査部 見手倉

tel：086-462-1111 内線2419

e-mail：mitekura@med.kawasaki-m.ac.jp

連絡先不明者リスト